Inquiry-based Learning 2026

探究学習「賜物に気づく」

Discovering our God-given gifts

自分の興味や強みを知り、他者や社会のために生かす

Recognising our interests and strengths, and using them to serve others



成果展示の会場。中間発表として、ポスターや住友商事様との共同プログラムの発表スライド、建築模型、繁殖目的で飼育をしている魚など、多彩な作品が並びました。

目的

キリスト教の精神に基づき、一人ひとりに与えられた賜物（自分の興味や強み）に気づき、それを他者や社会のために生かす力を育てます。あわせて、**予測不可能で変化の激しい社会に対応し、自ら課題を見つけ、情報を収集・分析して主体的に解決する素地**を養います。

特色

高等部生徒数	教員（メンター）	生徒：教員
123名	**20名** 日本人教員15名＋ in English teachers 5名	**6:1** 教員1人あたり 生徒約6名

生徒一人ひとりの探究テーマに応じて、教員が**メンター**としてサポートします。

Open Dayでの中間発表会場の様子



保護者の皆さまや近隣の方々など、900人近い来場者が生徒の学習成果を興味深く読んでくださいました。

高等部のスケジュール

1学期 TERM 1

◉ **英国でしかできない「経験」から「問い」を立てる**

例）
- 近隣の病院（GPとHospital）の見学
- ブライトンの一流ホテルでのインタビュー調査
- セブンシスターズでの生物サンプル採集

など

夏期休暇

居住国でしか集められない**「経験」「データ集め」「資料集め」**に取り組みます。

2学期 TERM 2

9月～ ◉ **集めたデータ・資料を整理・分析**

Open Day 保護者や近隣の方々への**中間発表**を一つの目標に、問いを深めていく

学期末 **H3が口頭発表**を行う

3学期

学期末

H1・H2が口頭発表を行う

小中学部の探究学習

探究基礎
スクールアウティング（校外学習）に向けた事前準備を通して、**問いの見つけ方、データの集め方・扱い方、考察の伝え方**を学びます。

▶

2学期 スクールアウティング後
一人ひとりが**個人テーマを設定**し、問いを深めていきます。

▶

3学期末
探究の成果を**口頭発表**します。

探究学習 口頭発表会



校内発表会

全生徒が日本語または英語で、20～30人の生徒と教職員を前に、自ら立てた問いと探究の成果を発表します。



Sumitomoプロジェクト発表会

欧州住友商事会社 ロンドン本社にて、探究の時間に共同プログラムに取り組んだ生徒が発表を行いました。